

議 長 次に、質問順位 2 番 7 番議員 中村充子議員。

中 村 議 員 はい、議長。

議 長 中村議員。

中 村 議 員 失礼いたします。

通告に従いまして一般質問をいたします。

2020年に新型コロナウイルス感染症が流行し、学校が休校となる大変な事態になりました。

慌てた政府は予防接種法に基づき、ワクチン接種を受けるよう努めなければならないという努力義務という位置付けをしました。

そして、ワクチンを接種した人に証明書を出しました。コロナワクチン接種は拙速ともいえるものでした。

ワクチンを打たない人は悪であるかのようなやり方だったようにも思います。

新型コロナワクチン接種で調べてみますと強制されたり、義務化されたりした事実は一切ありませんと出てきます。

最終的には本人の同意、自己決定権が原則とされました。事実上は強制と感じられるような圧力は確かにありました。

新型コロナウイルス感染症は、今はだいぶ落ち着き予防接種も定期接種となっています。

今年ははしかが記録的な流行になっています。原因となる「麻疹ウイルス」は国内では排除されたはずが、海外から持ち込まれ猛威を振っています。

幼少期の子どもは、はしかと風疹を混合した MR ワクチンの定期接種を受けるため、専門家は「2回の接種を徹底すれば、感染の広がりを十分に阻止できる」と、呼びかけています。

はじめに予防接種はなぜ打つのか。自分自身の発症重症化を防ぐこと、周囲の人への感染を広げないこと、集団免疫を目的としていることなどは理解しています。

そこで町長にワクチンの役割についてお尋ねします。

議 長 坂本町長。

坂 本 町 長 はい。ワクチンは、感染症を引き起こす、ウイルスや細菌等の病原体の、毒性を弱めたり無力化したものでございます。ワクチンを注射などで投与すると、病気に対する抵抗力、すなわち免疫がつくられ、感染症の発症や重症化を防ぐ効果がございます。これを予防接種といいます。

中村議員さんがいわれましたように、予防接種には、感染症の発症や重症化を防ぐ「個人防衛」と、社会全体で流行や、まん延を防ぐ「集団防衛」のふたつの役割があり、私は感染症対策として大変重要であると理解をしております。

中 村 議 員 ありがとうございます。あらかじめウイルスや細菌病原体に対する免疫を作り出し、病気になりにくくすると理解しました。

新型コロナワクチンはあまりに早急に接種したためワクチンで死亡した例もありました。今年の 2 月に接種後接種当日と翌日の死亡者は 6 4 3 人になったとワクチン接種事業中止を求める意見書を提出した方もおられます。

コロナワクチン接種事業、接種事業中止を求める意見書を提出した方もおられます。

すいません。

今年は、はしかが流行しています。MMR ワクチンは何故中止になったのでしょうか。お尋ねいたします。

渡 邊 保 健
福 祉 課 長 議長。

議 長 渡邊保健福祉課長。

渡 邊 保 健 MMR ワクチンは、麻しん（はしかのことです。）麻しん・

福 祉 課 長

おたふくかぜ・風しんワクチンの成分を混合したもので、各ウイルスの英語名の頭文字をとって名付けられました。1989年（平成元年）4月に予防接種法による定期接種になりましたが、1993年（平成5年）4月に中止になっております。実施期間は4年でした。中止の理由は、おたふくかぜワクチンの成分が原因とされる、無菌性髄膜炎の副反応が多発したことからあります。

現在、おたふくかぜワクチンの成分を除いたMRワクチンが定期接種として使用されており、1歳で1回、小学校入学前の1年間に1回の、計2回接種しています。一方、おたふくかぜワクチンは任意接種になっています。和木町では、MRワクチンと同じ対象者の2回分の接種に関して、米空母艦載機部隊配備特別交付金を活用し、概ね半額相当の1回あたり3,000円を助成しています。

なお、WHO（世界保健機関）が安全性を認めた、おたふくかぜワクチンを使用する新たなMMRワクチンを、厚生労働省は2026年（令和8年）5月11日に製造販売を承認し、現在、定期接種化に向けて検討を始めています。

中 村 議 員

はい、詳しい説明をいただきありがとうございました。

MMRワクチンはなぜ中止になったのかよくわかりました。

RSウイルスワクチンが2026年今年の4月から妊婦向けに定期接種が始まっています。対象期間内であれば無料になるようです。和木町はどうでしょうか。

議 長

渡邊課長。

渡 邊 保 健
福 祉 課 長

和木町では、接種費用の全額を公費負担しておりますので、対象者は無料で受けることができます。

RSウイルスワクチンは今年度定期接種になったワクチンですので、ここでどのようなワクチンかご説明いたします。まず「RSウイルスについて」ですが、RSのRはレスピラトリー、「呼吸器の」という意味です。Sはシンシアチル、

「合胞体」という、ウイルスに感染した細胞同士が融合して大きくなったもののことです。

厚生労働省のホームページ上にある情報になりますが、RSウイルスは呼吸器症状を引き起こします。生後 1 歳までに 50%が、2 歳までにほぼ 100%の乳幼児が、少なくとも 1 度は感染するとされています。感染すると 2 日～8 日の潜伏期間ののち、発熱、鼻水、咳などの症状が出て、一部では気管支炎や肺炎などを引き起こします。初めて感染した乳幼児の約 7 割は軽症で、数日で回復します。約 3 割は咳が悪化し、呼吸困難などの症状が出て重症化し、中には入院が必要な場合があります。

RSウイルスワクチンは、2026 年(令和 8 年)4 月から、予防接種法に基づく定期接種になりました。対象者は妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日までの妊婦の方です。乳幼児の疾患を予防するために妊婦に接種するワクチンを、「母子免疫ワクチン」といいます。RSウイルスワクチンは、定期接種では初となる母子免疫ワクチンです。生まれたばかりの赤ちゃんは、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされており、妊婦が予防接種を受けることにより、母の体内で作られた抗体が、胎盤を通じて胎児に移行し、病原体に対する予防効果を獲得して生まれてくることができます。

中 村 議 員

はい、詳しくありがとうございました。和木町では全額負担をしているということでしたので大変よかったと思います。3 割は重症化する恐れがあるということなので、気を付けていたらいいなと思います。風邪とよく似た症状なので母親がちゃんと見とくということが大切になってくるのかなというふうに思いました。

RSウイルスですが、「抗体製剤」も定期接種で使えるようになりましたというニュースが先週火曜日に流れたばかりです。赤ちゃんは重症化する恐れがあるため政府は抗体を体内に投与する「抗体製剤」をワクチンと同様に接種で使えるようにする法律の改正案を閣議決定したということです。

議 長

RS ウイルスワクチンは何回するのでしょうか。ワクチン効果は何年続きますか。お尋ねします。

渡邊課長。

渡 邊 保 健
福 祉 課 長

抗体製剤によるワクチンについては、これからの改正の中で出てくることですので、ここでは今定期接種に認められています妊婦の母子免疫ワクチンの方についてお答えをさせていただきます。

RS ウイルスワクチンの接種回数は 1 回です。また妊娠の都度、対象者になり定期接種を受けることができます。

先ほどご説明しましたとおり、妊婦が接種することで、生まれてくる赤ちゃんの RS ウイルス感染症を予防するための、母子免疫ワクチンです。出生直後から効果を発揮しますが、感染し発症した場合、最も重症化しやすい生後 6 ヶ月まで高い免疫効果を持続されるとされております。

中 村 議 員

ありがとうございました。

RS ウイルス感染症は高齢者も感染するおそれがあります。RS ウイルスワクチンは任意接種です。自費費用が 1 回あたり約 25,000 円から 38,000 円が相場で医療機関によって価格は異なります。高齢者の予防のため和木町から補助することはできないでしょうか。

議 長

坂本町長。

坂 本 町 長

はい、現在、国の厚生科学審議会において、高齢者に対する RS ワクチンの定期接種化に向けて、高齢者の RS ウイルス感染症に関するデータ収集や、RS ウイルスワクチンの有効性を検討されているところでございます。町といたしましては、今後も国や近隣市町の動向等に関して、情報収集に努め、費用助成についても適切に判断をしていきたいと考えております。

中 村 議 員

分かりました。

全国的に団塊の世代の方が多くおられます。

和木町の人口ピラミットを見ますと団塊の世代のお子さん方も多くいらっしゃいます。

高齢者の方々も益々元気でご活躍していただきたいと思っています。

6 月の広報では、和木町の人口は 5, 6 1 8 人でした。人口は減少傾向にあります。

和木町で暮らす方々が、健康で幸せであってほしいと願っています。

これで私の一般質問を終わります。

ありがとうございました。

議 長

再質問がないようですので、以上で中村充子議員の一般質問を終わります。